

## 沖電気

### 企業内IPセントレックスシステムを 東芝プラントシステムへ納入

沖電気工業は、同社のIPテレフォニーサーバ「IP CONVERGENCE Server SS9100 (SS9100)」をベースとした企業内IPセントレックスシステムを、東芝プラントシステムの情報・制御システム事業部に納入（都内事務所）した。今回、導入されたシステムは、都内の2カ所の事務所の端末を1台のSS9100によって制御する、企業内IPセントレックス形式がとられている。この2拠点には計100台の構内PHS端末が社員に割り当てられており、社員はいずれの拠点にいても常に同じ構内PHS端末を携帯し、1つの内線番号で通話ができるなど、効率的なコミュニケーション環境が実現された。

IP-PBXとしてシステム全体をコントロールしているSS9100は、主要事務所に設置され、他方の事務所にはIP対応構内PHS基地局（アンテナ）「UF7200IP」が設置されている。2拠点間は広域イーサネットで接続されており、SS9100が2拠点全体の内線を配下に置いている。IP-PBXとしてSS9100を拠点ごとに設置する必要がないので、最小限の投資で企業内IPセントレックスを実現。また、SS9100は従来の既存通信設備との接続も可能なため、外線発信用に用いられている管理ビル側の既設PBXにも接続されており、無理なく段階的に企業内IPセントレックスシステムを社内に拡げていくことができる。

東芝プラントシステムは、今後SS9100による企業内IPセントレックスシステムに加えて、電話端末として構内PHS端末だけでなくFOMA無線LANデュアル端末やモバイルIP電話端末などを採用したより本格的なモバイルセントレックス環境への移行も検討している。

IPソリューションカンパニー ソリューション開発本部  
TEL : 03-5445-8950 /  
E-mail : isc-promotion@oki.com

## シスコシステムズ

### 日本テレコムが新固定電話サービスの ネットワーク基盤に「Cisco ONS15454」を採用

日本テレコムは、2004年12月からサービスを提供している新固定電話サービス「おとくライン」のネットワーク基盤に、シスコシステムズのオプティカル製品「Cisco ONS15454」を採用した。

アクセス製品の容量が増加し、コアネットワークの施設が拡張してくると、トランスポートネットワークが帯域幅のボトルネックになってしまうが、このCisco ONS 15454は、トランスポート、統合オプティカルネットワークキング、マルチサービスインタフェース、および次世代エコノミーを強化する製品である。

Cisco ONS15454は、オプティカルトランスポートプラットフォームに先駆けとなる製品で、音声、データ、ビデオなどのマルチサービスを収容し、光ネットワーク上で効率良く伝送できる次世代SONET/SDH機器、すなわち、マルチサービス・プロビジョニング・プラットフォーム（MSPP）である。非常にコンパクトな筐体でQoSやRPRなどのレイヤー2/レイヤー3の機能で高度なデータサービスを提供することができる。またCisco ONS15454は、MSPPと同時にDWDM機能を具備するマルチサービス・プロビジョニング・トランスポート・プラットフォーム（MSTP）としての側面も併せ持っており、ROADMをはじめとしたインテリジェントなDWDM機能を提供し、MSPPとMSTPの統合ソリューションを展開することができる。

日本テレコムは、今回Cisco ONS15454を採用したことで、大容量で高度なサービスを効率よく提供するネットワークを構築し、将来へ向けたサービス基盤の光インフラを整備することが可能となった。

広報 TEL : 03-5549-6500 /  
E-Mail : press-jp@cisco.com

## 東京エレクトロン

### NECが携帯電話業者向けプラットフォームに TimesTen社のイン・メモリ・データベースを採用

東京エレクトロンが提供しているTimesTen社のイン・メモリ・データベース製品「TimesTen/DataServer」が、NECのAdvancedTCA規格に準拠した携帯電話事業者向けプラットフォームに採用された。

TimesTen/DataServerを採用したプラットフォームをベースとしたNECのパケットノード「新SGSN、新GGSN」は、パケット化された音声や動画像、また、第三代携帯電話網を使用したオンラインゲームサービス等のアプリケーションによって、急速に増加するインターネットのトラフィック処理を飛躍的に向上させることが可能となった。SGSN (Serving GPRS Support Node) は、無線アクセスネットワーク側との接続に、GGSN (Gateway GPRS Support Node) は、インターネットに接続するためのISPや企業網と接続するノードで、第三代携帯電話網の中で、基地局を通じて携帯電話端末に対してパケットの送受信(=インターネット通信)を可能にするものである。この新SGSN、新GGSNにおいて、TimesTen/DataServerは、システム構成やIPアドレス、ローミング、認証情報を含むルーティング情報を管理し、柔軟性、拡張性、弾力性を確保しながら、トランザクションの向上とリアルタイム管理を行う。また、開発サイクルの短縮も可能なため、全体的な生産力向上も期待できる。

NECがTimesTen/DataServerを採用し理由は、超高速トランザクション処理性能、安定性の高いレプリケーション機能による冗長性と拡張性、業界標準に準拠した開発環境の汎用性、また継続的なコスト削減効果を見込める等の特徴によるものである。

コンピュータ・ネットワーク事業部  
ソリューション営業統括グループ  
TEL : 03-5561-7192

## マクニカネットワークス

### Webアプリケーション・プロセッサ 「EIX 3200」をタワーレコードへ提供

ネットワーク機器の輸入、開発、販売を手がけるマクニカネットワークスは、同社が販売しているレッドライン ネットワークス社のWebアプリケーション・プロセッサ「EIX 3200」を、音楽ソフト、映像ソフト流通大手のタワーレコードへ提供した。

タワーレコードは、2004年11月に店舗、本部の基幹業務システムを入れ替え、新たにWebイントラネットシステムを構築したが、広帯域で接続されている拠点に比べ、狭帯域で接続されている拠点からのアクセスのレスポンスが悪く、業務効率があがらないという問題を抱えていた。マクニカネットワークスは、この問題の解決に向け、EIX 3200を提供することで全国に展開する販売店舗からのアクセスを高速化し、業務効率を改善した。

EIX 3200は、Webサーバの負荷軽減とクライアントのレスポンス向上を同時に実現するWeb高速化装置で、TCPコネクション集約機能やバッファリング、コンテンツの圧縮機能などを高次元で融合し、現在のWebシステムが抱える問題をトータルに解決できるという特徴がある。またタワーレコードでは、実環境にてEIX 3200をテスト導入し、128Kbpsの環境において約30秒かかっていた画面のレスポンスタイムが10秒以内に改善し、約3倍の効果がでるなど、EIX 3200がクライアントのレスポンス向上に効果を発揮した。さらにEIX 3200の独自の技術によりWebサーバへのトラフィックを低減し、セッションの生成を抑え、処理の対象数を減らすことでWebサーバの負荷軽減を実現することが可能となった。今後タワーレコードでは、EIX 3200のサーバ負荷軽減機能を活用したシステム拡張も検討している。

マクニカネットワークス株式会社  
TEL:045-476-1960 / E-mail:press@cs.macnica.net